



さいくさ小児科

病児保育だより



2023年9月号

夏休みは健やかに過ごせたでしょうか。まだまだ暑い日が続きますので熱中症対策も含めて健康管理が大切な時期です。

コロナウイルス感染症（COVID-19）は5類へ移行しましたが、感染状況は大きく変化していないようです。また感染症の流行も季節感がなくなっています。

9月には新学期もスタートし人との接触も増える時期となりますので、手洗い・うがい・マスクの着用など個々での感染対策を行いましょう。

アデノウイルスってなに？



アデノウイルスは乳幼児の呼吸器系感染症の主要なウイルスです。型によって症状は様々で、咽頭炎、肺炎などの呼吸器症状が強いものや下痢をするものもあります。

【主な症状は？】

- 咽頭炎、咽頭結膜熱（プール熱）



38℃～40℃近い発熱を5日間程度繰り返し、のどの痛みを伴います。

眼やに、眼の充血を伴えば咽頭結膜熱といいます。

- 流行性角結膜炎（はやり目）

眼の充血とまぶたの腫れ、涙、眼やにが出ます。



【治療方法は？】

咽頭炎・プール熱の場合は抗菌薬の治療は効きません。咳や鼻水などへの対症療法がメインになります。

はやり目の場合も有効な点眼薬はありません。専門的な治療が必要なことがあり眼科の先生にご紹介します。

【家族内での発症に注意】

感染力が強いので手洗い、うがいなどを徹底してください。

特にはやり目は伝染力が非常に強く、手についたウイルスが目に入ることで感染するので、タオル共有をさけて十分な手洗いをしましょう。



【いつまでお休み？】

咽頭炎・プール熱の場合は熱が下がって丸2日間たつまでお休みです。

はやり目の場合は明確な基準はありませんが、眼の発赤や眼やにが消失するまでお休みです。



7月、8月は夏風邪（手足口病など）、インフルエンザや嘔吐・下痢のお子さんが利用されました。お気軽にお問い合わせください♪

さいくさ小児科病児保育室 0956-39-3193